



京都市立 西京極中学校

校是 「自立と貢献」

学校だより

令和3年度

2月

文責：東郷伸也

春はもうすぐそこまで

二十四節氣では、小寒から大寒を経て立春の前日までが1年で最も寒い季節とされています。今年だと1月5日から2月3日までです。そんな中、木々はもう春の準備を始めています。例えば、桜。春の景色といえば満開の桜を思い浮かべる人も多いと思いますが、その花芽はすでに前年の夏につくられています。花芽は秋から冬にかけて一旦休眠しますが、冬の厳しい寒さによって目を覚みます。ちょっと意外ですね。春の暖かさではなく、冬の寒さで目を覚ますのです。そして徐々に暖かくなるにつれてつぼみが成長し、春には満開の桜となります。桜がきれいに花を咲かせるには、冬の厳しい寒さと春の暖かな気候の両方が必要なのです。

3年生の受験がいよいよ本番を迎えます。私自身の高校受験は、はるか昔40数年前の出来事ですが、合格発表のあの清々しさは今でもはっきりと覚えています。春ってこんなに暖かかったんだなあと思いました。みんなの春もすぐそこまで来ています。3年生のみなさんは、自分の進路を決めるまでに、たくさん自分と向き合ってきたと思います。自分は将来どんなふうになりたいのだろう、自分のいいところって何だろう、高校に行って何をしたいのだろう。そんなことを真剣に考え、“なりたい自分”に向かってしっかり努力を重ねてきたならば、もう何も怖がることはありません。自分を信じて、自分の力を出し切るだけです。

3年生国語の教科書に、「誰かの代わりに」という教材があります。鷺田清一さんという哲学者の方の文章です。その中で、本校の校是にもある「自立」について書かれています。

《「自立」は「依存」を否定する「インディペンデンス」(独立)ではなく、むしろ、「依存」に「相互に」という意味の「インター」を付けた、「インターディペンデンス」(支え合い)として捉える必要があります。いざ病気や事故や災害などによって独立では生きていけなくなったときに、他人との支え合いのネットワークをいつでも使える用意ができているということ。それが、「自立」の本当の意味なのです。》



2月行事予定

1	火	面接練習（3年）
2	水	科学センター学習⇒中止
3	木	性教育学活（3年）
4	金	科学センター学習⇒中止
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	PTA本部会
9	水	
10	木	私立高校入試 修学旅行説明会⇒リモートで実施
11	金	建国記念日 私立高校入試
12	土	私立高校入試
13	日	
14	月	
15	火	テスト1週間前（1, 2年）
16	水	公立高校前期選抜
17	木	公立高校前期選抜
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	第4回定期考查（1, 2年）
23	水	天皇誕生日
24	木	第4回定期考查（1, 2年）
25	金	第4回定期考查（1, 2年）
26	土	
27	日	
28	月	

《小さな巨匠展》

京都市の育成学級、総合支援学校に在籍する子どもたちの合同作品展「小さな巨匠展」は2月3日(木)から京都市京セラ美術館別館で開催予定でしたが、コロナの影響で中止になりました。毎年とても楽しみにされている方も多いかったと思います。(私もそのうちの一人です。)とても残念です。

新型コロナ感染の状況と対応について

年が明けてからの感染拡大は、予想を上回るペースです。この間、学級閉鎖やPCR検査などで、ご心配をおかけしまして申し訳ありません。また、登校自粛にもご協力いただきまして、ありがとうございます。

本校では2月2日現在、2クラスが学級閉鎖をしています。また、ご家族の感染や、小学校の学級閉鎖によって、登校を見合せさせていただいている生徒のみなさんもかなり多くなっています。幸い、感染した方の多くは軽症とお聞きしています。でも、精神的な辛さもあるでしょうし、お休みをさせていただいている間のことがとても心配です。お休みの生徒の皆さんには、GIGA端末を活用してリモート学習を実施していますが、学習以外のことでも心配なことや困ったことがあればいつでも言ってください。一日も早くコロナが収束して、またみんなで勉強できる日が待ち遠しいです。

さて、学級閉鎖の基準や期間について、保護者の皆様にとってわかりにくいのではないかということで、先日メール配信でご説明しましたが、再掲します。(学級閉鎖については、文科省と京都市教育委員会の指針に従って学校で判断しております。)

○ 学級閉鎖になる・ならないの基準

陽性が確認された生徒の発症日を基準に、その2日前からを“感染可能期間”としています。その期間に、当該生徒が登校している場合に、そのクラスを学級閉鎖とします。(以下、学級閉鎖をしたクラスを「当該学級」とします。)

※発症日とは、発熱等の症状が現れた日です。無症状の場合は、検査を受けた日を発症日とします。

○ 学級閉鎖の期間

陽性が確認された生徒の最終登校日の翌日から、原則7日間の学級閉鎖をします。その間に、当該学級で新たな陽性者や体調不良者がなければ、8日目から登校再開となります。

○ 濃厚接触者に該当するかどうか

当該学級については、さまざまな資料をもとに京都市保健福祉部局と教育委員会で疫学調査が行われます。調査は陽性判明から概ね3日間かかります。ですので、学級閉鎖が始まって概ね3日後(学校から教育委員会に報告をしてから3日後)に、学校より「濃厚接触者に該当しませんでした(あるいは該当しました)」の連絡をします。(授業では常にマスクを着用し換気もしていますので、通常の教育活動の中で濃厚接触者に特定されることはありません。)

○ 兄弟姉妹の登校について(・・以前の基準から変更になりました)

当該学級生徒の兄弟姉妹についても、登校・外出等の自粛にご協力ください。登校自粛していただく期間は、「濃厚接触者に該当しませんでした」の連絡があるまで(学級閉鎖が始まって概ね3日間ほど)です。もし、濃厚接触者に特定されれば、兄弟姉妹の方も登校自粛期間は延長されます。就学前施設や習い事については、それぞれ受け入れ先に事前にご確認ください。

いろいろと心配をすればきりがなく、生徒の皆さんの中には不安な気持ちで毎日を過ごされている人も多いのではないかと思います。一日も早く、みんなで安心して勉強や部活動などに取り組める日がくることを願うばかりです。